

最新AI・三役揃い踏みにプラスワン

chatGPT (OpenAI)・Bing (MS)・Bard (Google)・Claude (Anthropic)

JJ1SXA/池

今や、社会問題と化した生成型AI、お騒がせの先陣を切ったのは「chatGPT」、2022年11月に公開された、TWO-FORTY誌記事で取り上げたのは、3月発行の「第115号」だ、公開3か月後の2月に記事を書いて、HPで発表した頃は、それほどの大騒ぎではなかったが、その直後頃から新聞紙上に大きく取り上げられるようになったと記憶している。

AI知能の安全性を高める業界団体、Frontier Model Forum (フロンティア・モデル・フォーラム)を形成すると、7月26日(2023年)発表された。

参加するのは当面、OpenAI、Microsoft、GoogleとAnthropicの4社だ、前3社は良く知られるが、最後のAnthropic (アンスロピック)社の名前が余り馴染みが無い、それで、「三役揃い踏みにプラスワン」とした。

だが、このAnthropicはGoogleと深いつながりがある、また一方、OpenAIはMicrosoftとの結びつきも深い、この「アンスロピック」は、OpenAIの元上級メンバーだったダリオ・アモデイとダニエラ・アモデイ兄妹によって 2021 年に設立されたものだが、アモデイ兄妹は2019年にOpenAIとマイクロソフトとの協業に関しての方向性の違いからOpenAIを退いた、そして、Googleから多額の資金援助を受けたのだ。

「三役揃い踏みにプラスワン」としたが、並び立つ「Google」と「Microsoft」両雄の競合が見ものだ、なお、Anthropicの生成AI「Claude…クロード」は8月(2023年)時点では日本語対応はしていないようだ。

これらの対話型AIは、一部には批判があるが、無視するわけにはいかないだろう、ここは乗り遅れないようにする必要があるのでは無いか。

chatGPTの利用にはユーザー登録が必要で、そのことは、TWO-FORTY誌第115号記事「chatGPTに登録」に書いているが、メールアドレスで登録、携帯電話のSNSで認証でOKだ、グーグル、マイクロソフト、アップルのアカウントを持っていれば、それで登録しても良い、登録さえ済めば即利用可だ。

マイクロソフトの「Bing」チャットAI機能を利用するには、EdgeでBingのサイトを開き、上部にある「チャット」をクリックすれば良い、アドレスバーの右端にBingのアイコンが表示されれば、それをクリックするだけだ。(Bingのサイト→<https://www.bing.com/>)

なお、新BingはEdge専用で、クロームなど他のブラウザでは使えない。

また、EdgeではMSアカウントにサインインしておいた方が良い、サインインしなくても使えるが、一度の会話の質問は最大5回で履歴も使えないが、サインインしていると、一度の会話でできる質問の回数が初回を含めて30回できる他、自動保存された質問と回答を履歴から呼び出せる。

回答のスタイルが、「より創造的に」、「よりバランスよく」、「より厳密に」の3種類ある、とりあえずは、標準の「よりバランスよく」で質問だ。

回答の内容は、chatGPTと大きく異なる、「詳細情報」は回答を生成するために参照し

た出典ページへのリンクで、さらに聞きたいであろう質問の候補も提案してくれる。

物語の創作創作を依頼するなら、「より創造的に」が向くだろうし、「次の??はいつか?」など、具体的な日時などの正確さを求めたい時は、「より厳密に」を選ぶ。

履歴に保存された質問と回答は、PDF、ワード文書、テキストでファイルとしてダウンロードできる。

グーグルの「Bard」の利用には、Googleアカウントを持っていればすぐ使える、Bardのサイト「<https://bard.google.com/>」にアクセス、右上の「ログイン」を選択、Googleアカウントでログインすれば良い、質問の仕方は、他のものと同じようだが。一つの質問に対して常に3つの回答を生成するというスタイルだ、回答候補から選択肢を切り替えて内容を検討できるので便利だ、3つの回答候補に不満なら、質問内容を修正して回答を再生成することも可能だ。

チャットAIに質問しても期待した回答が得られなかったのは、その原因の一つは、質問の仕方が悪かった可能性がある、人との会話同様、相手が理解し易いように質問しないと満足な回答は得られない、最も重要なのはポイントを絞り込んだ具体的な質問をすることだ。

どう質問したら良いか迷った時は逆に質問してもらおう手もある、核となる質問に「必要な情報を逆に聞いて」と付け加えてみる。

回答が専門的で難しかったときは「小学生でもわかるような文章にして」などと添えての質問が効果あるようだ。

まだまだ多く利用上の注意点はありますが、これだけ素晴らしい、chatGPT、質問内容によっては、「情報を提供できません」と断ってくる、時には、全く嘘の回答を出す時がある、これは、最大の問題だ、存在しない場所を紹介したり、間違った歴史の解説などをまことしやかに回答したりする。

これは、チャットAIのエンジンである、「自然言語処理AI」の仕組みにあるそうだ、言語モデルは膨大な量の文書を学習して、与えられた質問の次に続く語句を確率的に推測する、推測する語句は多いが、言語モデルは学習結果を踏まえて効率が高いものを選び出す(実際には、確率に幅を持たせてランダムに選ぶ)、その後続く語句も同様、チャットAIの回答は、この推測の繰り返しで生成される(実際の仕組みはもっと複雑のようだが…)

こんな仕組みのようだが、そのためか、弱点、欠点もある、列挙すると、「AIは言葉の意味を理解していない?」、「ChatGPTは最新情報に弱い」、「日本の情報にはあまり詳しく無い」、「日本の歴史や地理も駄目」等々がある、と、いうことで、チャットAIを正確無比のデータベースと過信しないことが肝要だ。

乗り遅れては行けないと少し勉強したが、まだまだ入り口をちょっと齧った程度だ、使いこなすの域は遥かに遠く、ゴールポストは全く見えない、少しずつ使っている内に若干の進歩があると信じることにする。

(2023年8月記)